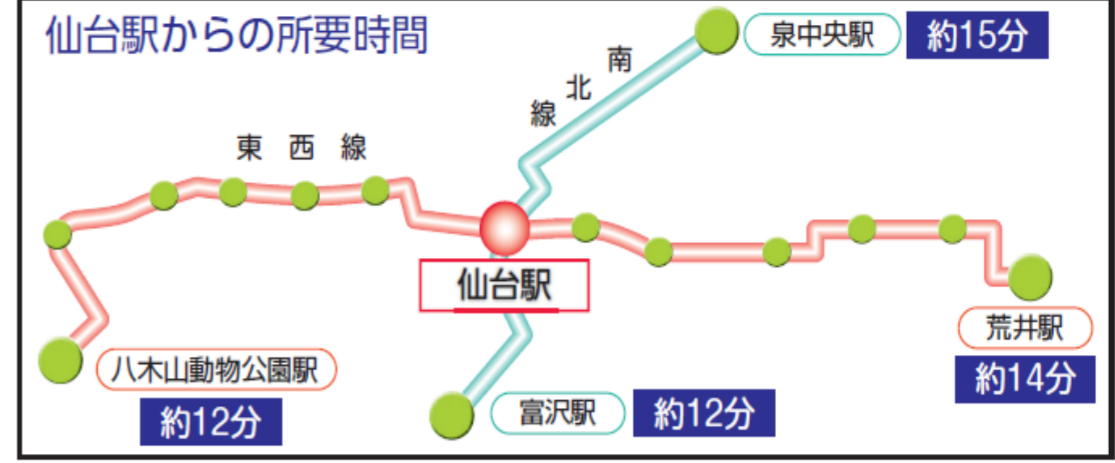


1 地下鉄東西線？せんだいスマート？

地下鉄東西線⇒平成27年12月6日地下鉄東西線が開業しました。地下鉄東西線開業により、南北線と東西線、さらにJR線が互いにつながりあった、鉄道を機軸とした骨格交通軸が形成されるとともにイクスカ(ICカード乗車券)を導入し、地下鉄とバスの連携による公共交通の更なる利便性向上を図っています。

せんだいスマート⇒仙台市は他都市に比べ、県外からの社会移動が大きく、人口に対する学生が多いことから「せんだいスマート」をキャッチフレーズに市民、交通事業者、企業、学校、NPOなどと協働で、鉄道やバスなどの公共交通利用を促進するため、様々なモビリティ・マネジメントの取り組みを実施しています。



2 企業MM

概要

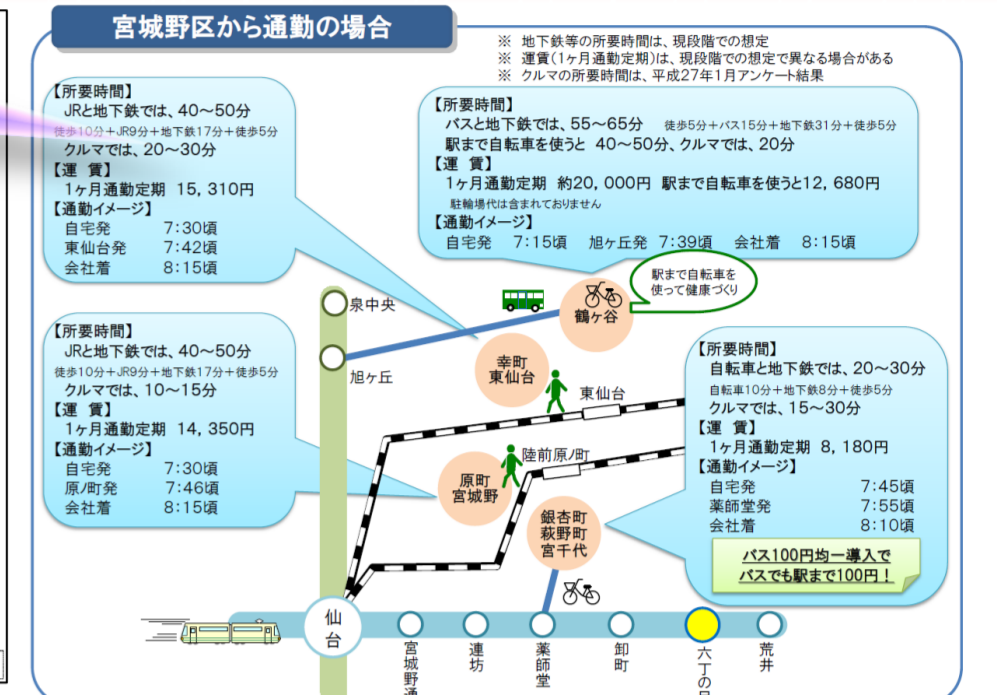
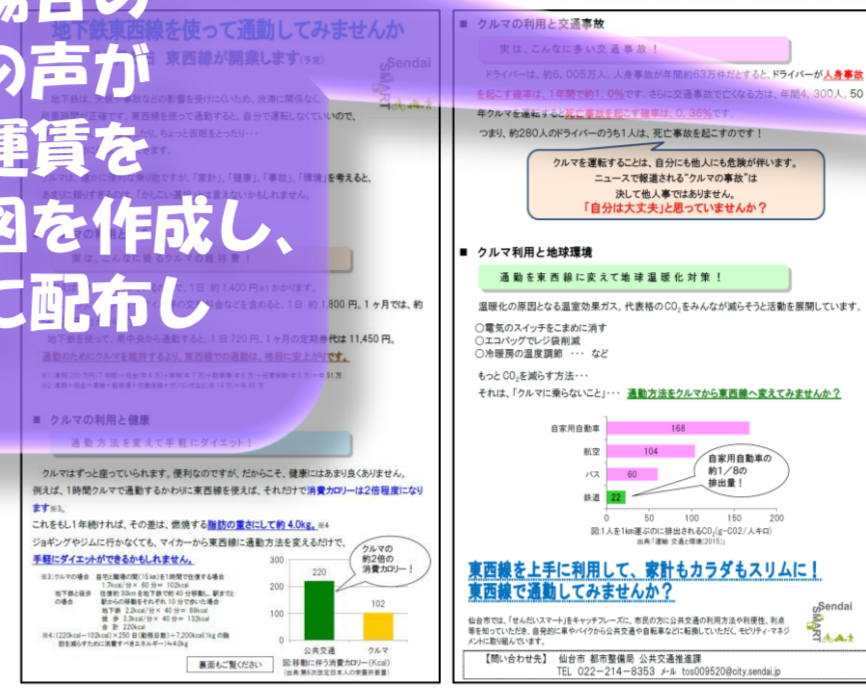
地下鉄駅周辺の事業所を対象として、通勤や業務での移動における自動車利用について考え方を見直してもらい、自動車から公共交通機関への転換を促進することを目的に実施しています。

東西線開業へ向けての取り組み

東西線開業前に仙台印刷工業団地協同組合(六丁の目駅に隣接)を対象に、同組合の青年部と意見交換会を開催し、従業員に東西線やイクスカ(ICカード乗車券)の情報を提供するとともに東西線を利用した通勤方法を提案するチラシを作成し、従業員に対して利用促進を働き掛ける取り組みを実施しました。

また、開業後には公共交通利用に対する意識と今後企業MMの進め方を検討するための基礎データとして印刷工業団地を含め、地下鉄沿線の企業に対しアンケート調査を実施しました。H28年度は調査結果を分析し、効果的なMMを実施するための対象企業の抽出、優先順位づけ、動機付けツールの作成等を行い、南北線も含めた地下鉄沿線の事業所に対して、自動車利用に対する意識の転換を図り、公共交通機関の利用を促進する取り組みを展開していきます。

意見交換会では、自分の住んでいる地区から通勤した場合のイメージがわからないとの声が多かったため、時間や運賃をわかりやすくまとめた図を作成し、動機付けチラシと一緒に配布しました。



「通勤」の手段を車から公共交通機関へ転換することについて事業所の取組み

	結果	件数
実施済		161
実施の予定や意向がある		26
実施の予定や意向がない		213
未定		130
無回答		4
合計		534

赤枠については、今後積極的にMMを展開していくよ！
青枠については何故実施の予定や意向がないのか原因を探っていくよ！

3 小学生MM

概要 (H16年度から実施)

自家用車の普及に伴い公共交通機関、とりわけ路線バスの利用者は減少傾向にあり、子ども達がバスに乗車する機会は非常に少なくなっています。そのため、仙台市では、交通と環境について学ぶ機会を創出することで、小学生の意識と行動を環境に配慮したものに誘導し、将来の公共交通利用者となってもらえるように交通環境学習を実施しています。

小学校独自で学習に取り組めるよう平成22~25年には交通エコモ財団支援事業により、実施したモデル授業の実施例や、先生方が授業内容に応じてアレンジできる電子教材、模擬券売機などを作成し、市内の小中学校へ交通環境学習実施の呼びかけや普及拡大に取り組んでいます。

東西線開業へ向けての取り組み

東西線沿線の荒井駅に近い七郷小学校など9校において、校外学習で公共交通機関を利用する前の事前授業として電子教材や模擬券売機を使用しながら地下鉄の乗り方や乗車中のマナーについて学習しました。

また、次年度の授業スケジュールを検討し始める10月から地下鉄沿線の小学校に対し、個別で交通環境学習実施の呼びかけや、生活科・総合的な学習研究部会でのPRを行いました。そうしたことでH26よりも3校多く小学生交通環境学習に取り組んでいただきました。



▲券売機模型による模擬体験

4 大学MM

概要 (H20年度から実施)

県外などから新たに市内の大学に入学する学生は、仙台の交通事情に詳しくありません。そのため、仙台市では、大学・大学生協等と連携しながら大学独自の交通情報ツールを作成しております。新入生への入学手続き資料等に同封し、新入生に公共交通の利便性の高い地域への居住を促すことで公共交通の利用促進を図っています。

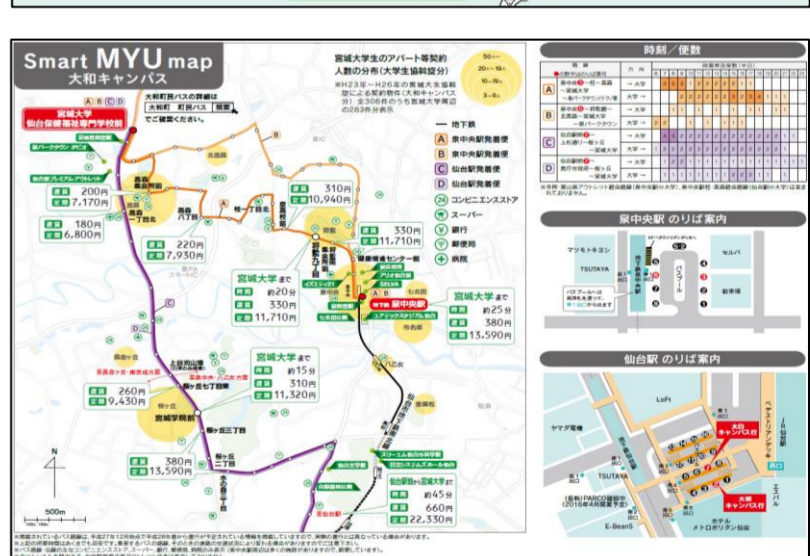
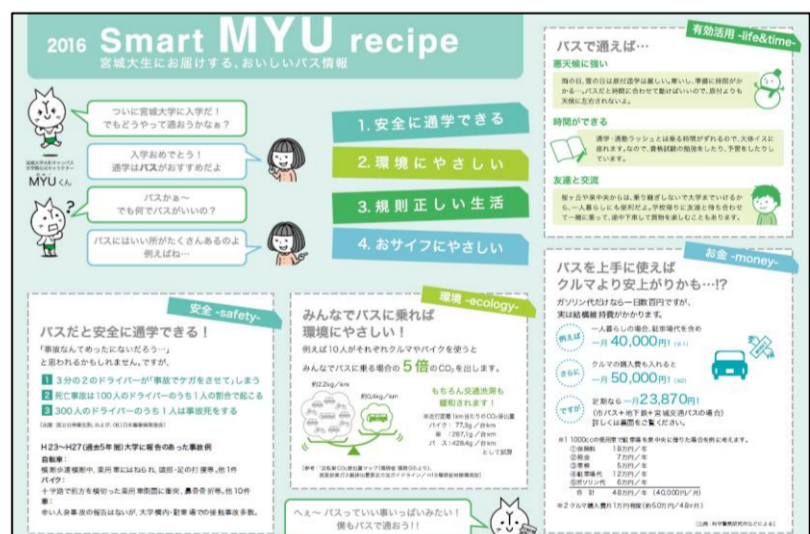
現在仙台市内に大学(短大含む)は14校あり、これまでに8校がマップ作成を行いました。また、毎年4月東北大・宮教大の入学者に「新入生キャンペーン」として、公共交通での通学を促進するため、入学式等でバス・地下鉄通学のメリットを周知するグッズを配布しています。

東西線開業へ向けての取り組み

東西線開業時に路線バスの運行が変わる、宮城大学の交通情報ツールを作成しました。作成にあたっては学生や大学、大学生協と一緒に編集会議を開催し、通学に必要な公共交通や、通学に便利な居住地の情報を掲載することで、公共交通の利用を呼びかけました。



▲マップ編集会議



▲宮城大学マップ

5 転入者MM

概要 (H20年から実施)

仙台市に転入される方が、市内の各区役所で手続きされる際に、「せんだいスマートグッズ」を窓口で配布しています。公共交通、特にバスの路線情報や利用方法の案内など、転入者の日常の通勤・通学手段が決まる前に、積極的に公共交通に関する情報を提供することで公共交通を利用していただくことを目的に配布しています。



東西線開業へ向けての取り組み

東西線開業により、地下鉄とバスが連携し日常生活が便利になることを転入者に知ってもらうため、開業後の新たな路線バスの情報を網羅したバスマップを作成しました。また、イクスカ(ICカード乗車券)の利用ガイドも同封し、公共交通の利便促進を図っています。(H27は東西線開業に併せ31,000部作成)

6 公共交通利用促進イベント

概要 (H22年から実施)

市民一人一人の公共交通利用促進、環境意識の高揚等を目的とし、「魅力いっぱい！交通フェスタ」を開催しています。せんだいスマートや自転車を含む公共交通利用に関するPR、その他様々な体験コーナーを設け、子供から大人まで幅広い層を対象にしています。

東西線開業へ向けての取り組み

東西線整備開業に向けたPRをメインに、公共交通や環境に関する情報発信を行い、平成27年度は約4,000人の来場がありました。



▲各種PRブース



▲ミニトレイン

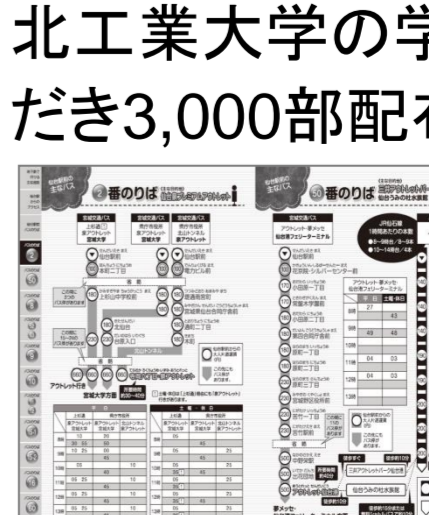
7 市民協働事業

概要および東西線開業へ向けての取組み

東西線開業に伴い、バス路線の再編内容の周知や更なる利用促進を図るため、H27に仙台市市民協働事業提案制度により、市民等に対してわかりやすい情報提供の仕方を募集しました。その結果、(特活)まちづくり政策フォーラム「交通を考える研究会」との協働により、利用者の立場にたった情報提供を行うための小冊子として「おでかけ便利帳」を作成することができました。また、地下鉄駅構内やバスプール案内所に配置している他、東西線試乗会の際には、東北工業大学の学生にも協力していただき3,000部配布しました。



▲小冊子



▲内容



▲配布状況